

月刊むし 263: 18-19 (1993)

論文要旨

長野県中部におけるゲンジボタルの発光パターン

井口 豊

〒394-0005 長野県岡谷市山下町 1-10-6 生物科学研究所
bio.iguchi@gmail.com

月刊むし 263: 18-19 (1993)

Flash patterns of the firefly *Luciola cruciata* Motschulsky in the central part of Nagano Prefecture

Yutaka Iguchi

Laboratory of Biology
Yamashita-cho 1-10-6, Okaya City, Nagano Prefecture, 394-0005, Japan
bio.iguchi@gmail.com

Gekkan-Mushi, 263: 18-19 (1993)

問題の背景

長野県の天竜川上流地域，辰野町・松尾峡と岡谷市・川岸駒沢のゲンジボタルの発光周期は比較研究されたことがなく，本研究が初めての報告となる。

方法

上記の2地点（図1）で，1993年7月1，3，8日の3日間，20時30分から0時30分にかけて約10個体のゲンジボタルの発光周期を計測して平均値を算出した。

結果と考察

両地点ともに，時刻とともに発光周期は長くなったが，松尾峡の集団の発光周期は2秒型であり，駒沢の集団の発光周期は3秒型あるいは4秒型であると結論された。

この論文発表後に，Iguchi (2002) によって，両地域のゲンジボタル明滅周期が気温に依存し，回帰分析と共分散分析によって，両集団の同時明滅周期が識別されることが判明した。さらに，井口 (2003) により，辰野町松尾峡のゲンジボタルが，県外からの人為的移入集団であることも判明した。

参考文献

- Iguchi Y (2002) The influence of temperature on flash interval in the Genji-firefly *Luciola cruciata* (Coleoptera: Lampyridae). *Entomological Review of Japan*, 57 (2): 119-122.
井口豊 (2003) 長野県辰野町松尾峡におけるゲンジボタル移入の歴史について. *全国ホタル研究会誌* 36: 13-14.

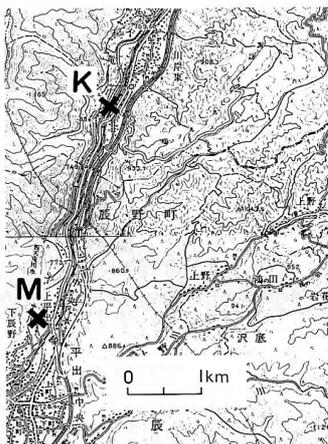


図1. 調査地域

K : 岡谷市駒沢，M : 辰野町松尾峡

国土地理院発行5万分の1地形図「諏訪」「高遠」使用。

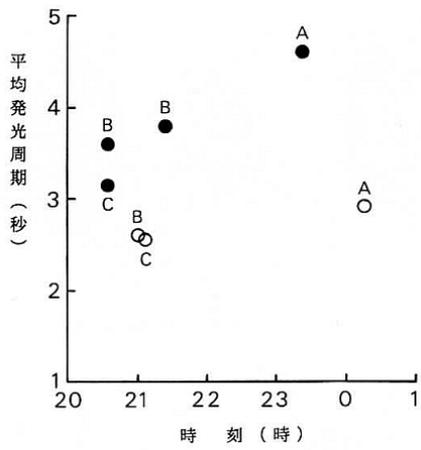


図2. 駒沢と松尾峡の平均発光周期

● : 岡谷市駒沢, ○ : 辰野町松尾峡

A : 7月1日, B : 7月3日, C : 7月8日.